

YAMAHA

NATURAL SOUND DESK TOP AUDIO SYSTEM

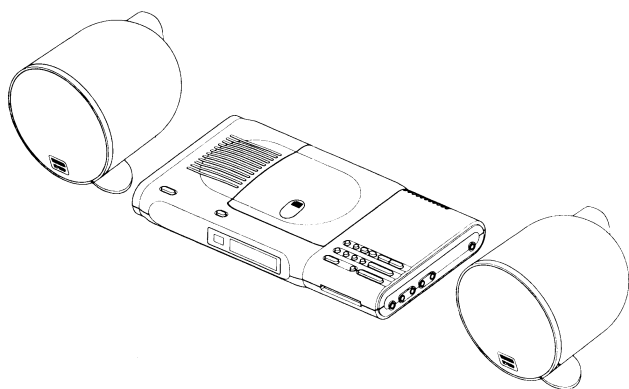
YST-DC11 / YST-DF11

取扱説明書

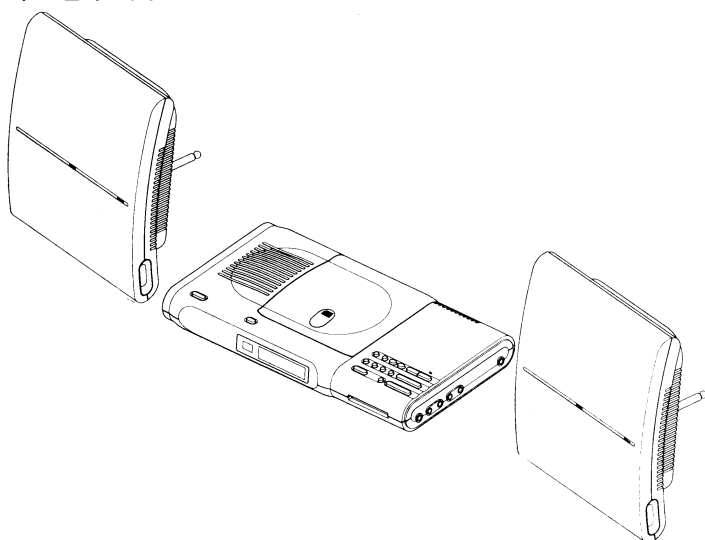
COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Active Servo
Technology

YST-DC11



YST-DF11



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

目次

特長	1
付属品	1
豊かなオーディオライフのために	2
接続のしかた	3
スピーカーの設置のしかた	3
接続のしかた	4
ヘッドホンで聞く	4
付属アンテナの設置のしかた	5
FM専用外部アンテナの接続のしかた	5
CONTROLジャックの使いかた	5
外部機器との接続	6
操作の前の準備	7
リモコン操作について	7
電池の入れかた(交換のしかた)	7
電池のご注意	7
現在時刻の合わせかた	8
各部の名称とはたらき	9
本体	9
リモコン	11
CDの基本的な演奏	12
1曲目から聞きたいときは(ノーマル演奏)	13
好きな曲から聞きたいときは(スキップ演奏)	14
早送り・早戻しするときは(サーチ演奏)	14
いろいろなCD演奏	15
好きな曲を好きな順に聞きたいときは(メモリー演奏)	15
くり返して聞きたいときは(リピート演奏)	16
止めた曲から続けて演奏させるときは(リジューム演奏)	16
放送を聞くには	17
プリセットメモリー	18
タイマーを使うには	19
目覚しタイマー(WAKE UP)	19
おやすみタイマー(SLEEP)	21
外部機器を再生するには	22
CD(コンパクトディスク)の取り扱いかた	23
故障かなと思ったら	24
参考仕様	25
ヤマハ ホットラインサービス ネットワーク	26

ご使用の前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ・デスクトップオーディオシステムYST-DC11/YST-DF11をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

YST-DC11/YST-DF11の優れた性能を充分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にぜひこの取扱説明書をお読みくださいますようお願いいたします。

お読みになった後は、保証書と共に保管してください。

特長

■先進のテクノロジーを採用

CD（コンパクトディスク）の持つ優れた音質を充分にお楽しみいただけるように、SN比97dBの高性能アンプや2DAC、4倍オーバーサンプリングデジタルフィルタ―など、最新の技術を採用して開発されました。

■小型ながら迫力の低音再生

アクティブ・サーボ・プロセッシング・アンプを採用していますので、迫力のある重低音をお楽しみいただけます。また非常にコンパクトな設計となっておりますので、机などのちょっとしたスペースにも設置可能です。

■マイコン搭載による多彩なCD演奏

マイクロコンピューターを搭載することにより、予約演奏、リジューム演奏、繰り返し演奏、とび越し演奏など、CDに収められている情報を最大限に生かした多彩な演奏を、簡単操作でお楽しみいただけます。

■AM、FM併せて19局プリセットメモリー可能

お好きな放送局を19局プリセットメモリーできます。メモリーした放送局はプリセット選局で簡単に選局できます。

■タイマー機能内蔵

目覚しタイマー(WAKE UP)、おやすみタイマー(SLEEP)を内蔵しています。CDやFM、AM放送を聞きながらおやすみになり、アラーム、CD、AM、FM放送などでお目覚めになれます。

■バス エクステンション スイッチ装備

バス エクステンション(BASS EXTENSION)スイッチをONすることにより、重低音をさらに増強できます。

■ヘッドホンステレオなどの外部機器接続可能

ヘッドホンステレオなどを接続し、本機のアクティブ・サーボ・プロセッシング・アンプを使って迫力のある音でお楽しみいただけます。

■21キーワイヤレスリモコン

離れたところから本機を操作できるワイヤレスリモコンを付属しています。リモコンは非常にコンパクトなカード型で、本体に収納できます。

付属品

付属品が揃っているか確認してください。

<p>リモコン</p> 	<p>リモコン用電池</p> 	<p>電源コード</p> 	<p>AMループアンテナ/ FM簡易室内アンテナ</p> 	<p>YST-DC11の場合… スピーカーコード×2</p> 	<p>YST-DC11の場合… スピーカースタンド×2、 スタンド固定ネジ×4</p> 
<div data-bbox="231 1825 295 1904"> </div> <p>これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。</p> <h3>音楽を楽しむエチケット</h3> <p>楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。</p>				<p>YST-DF11の場合… スピーカーコード×2</p> 	<p>YST-DF11の場合… スピーカースタンド×2</p> 

(使用上の注意) 豊かなオーディオライフのために

■電源

- ・国内のみでご使用ください。
- ・家庭用電源コンセント (AC100V) に接続してください。
- ※それ以外の電源を使用すると、動作不良や故障の原因になります。

■電源コード

- ・付属の電源コードを使用してください。
- ・電源コードはひっぱらないでください。(プラグを持って抜いてください。)
- ・電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ※電源コードが断線したり、感電の原因になります。

■本体

- ・キャビネットは開けないでください。
- ・セットの中に金属類(針・硬貨など)を入れないでください。
- ・セットの中に液体(水・アルコールなど)を入れないでください。
- ・セットの中に燃えやすいもの(紙・布など)を入れないでください。
- ※火災・感電・故障の原因になります。

■設置場所

- ・蛍光灯やモーターなど、ノイズを発生するものの近くに置かないでください。
- ※雑音が入ることがあります。
- ・ぐらついた台の上や、傾いたところには置かないでください。
- ※落ちたり、倒れたりして危険です。
- ・湿気の多いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところ、温度の高いところ、極端に寒いところには設置しないでください。
- ※動作不良や故障の原因になります。

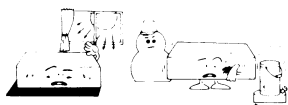
本体の底板は放熱板となっていますので、熱くなりますが異常ではありません。熱に弱い化粧版を使ったテーブルなどの上に設置するのは避けてください。

■長期間

- ・旅行や外出などで長期間留守にされる場合は、安全のためにPOWERボタンをオフし、電源コードをコンセントから抜いてください。このとき、プリセットメモリーは消えてしまいます。(帰宅後にプリセットメモリーしなおしてください。)

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。



国内のみ使用可

家庭用電源コンセント AC100V



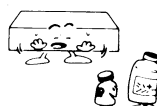
ほこり・水気をさけて！



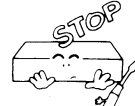
不安定な場所をさけて！



薬物厳禁



開けないで！



引っばらないで！



こわれた？



24ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

取扱説明書はかならず保管してください



ファイルなど

衝撃や過大な振動がある場所では使用しないでください。

結露現象について

冬期に本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、CDプレーヤーの動作部やピックアップレンズに露が付くことがあります。

露が付いたままでは正常な動作ができませんので、そのようなときは、本機を室内に保ち、電源を入れたまま1~2時間放置し、露が消えてから操作してください。

結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合は本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてください。

保護回路について

本機には、内部の温度上昇防止のための保護回路が内蔵されています。内部の温度が設定温度以上になると、自動的にスピーカー端子の出力をカットし、スピーカーから音が出なくなるようにします。これは内部の回路を保護するためです。もし保護回路が働いた場合は電源を切り、温度が下がるまでしばらくお待ちください。一定温度まで下がると元に戻ります。

本機の底板は放熱板になっており、放熱のために熱くなることがあります。直接触れないでください。また、通気性のよい(放熱効果のよい)場所に設置してください。

接続のしかた

スピーカーの設置のしかた

スピーカーは付属のスピーカースタンドを使って、据置きとして使用できます。

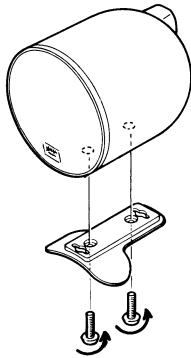
※スピーカーをテレビの近くに設置すると、色むらが生じることがあります。その場合はスピーカーをテレビから離して設置してください。

YST-DC11の場合

スピーカースタンドをスタンド固定ネジで図のように取り付けます。

安定した台の上に設置してください。

※別売のスピーカーホルダー-SPM-1、SPM-5を使用することもできます。

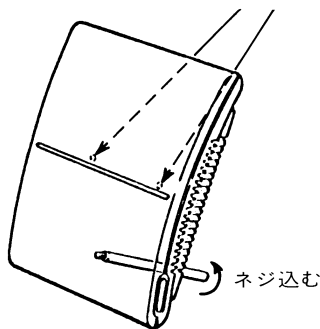


YST-DF11の場合

スピーカースタンドを図のように取り付けます。安定した台の上に設置してください。

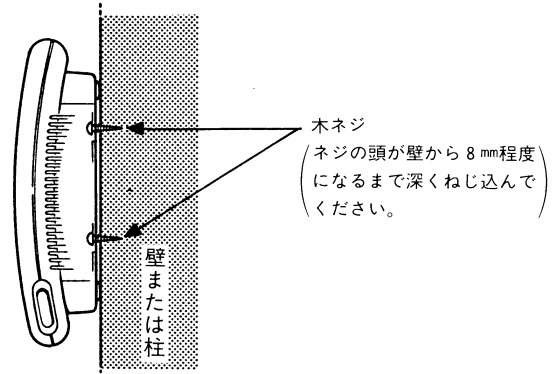
※別売のスピーカーホルダー-SPM-1、SPM-5を使用することもできます。

SPM-1、SPM-5 を取り付ける場合のネジ穴



YST-DF11を壁に掛ける場合

後面に取り付け穴がありますので、壁に掛けて使用することもできます。しっかりとした壁または柱に木ネジをねじ込み、それに掛けてください。



※取り付け穴は4ヶ所あり、縦掛けの場合も、横掛けの場合も2ヶ所ずつネジを引っ掛けます。

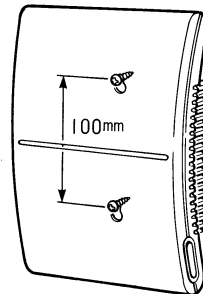
※YST-DF11用のスピーカーは重量が1.5kgありますので、薄いベニヤ板の壁や柔らかい壁には取り付けないでください。木ネジが抜けて本機が落下しますと、ケガやスピーカー破損の原因になります。

※くぎなどの抜けやすいものは使用しないでください。長時間の使用や振動で抜けることがあります。

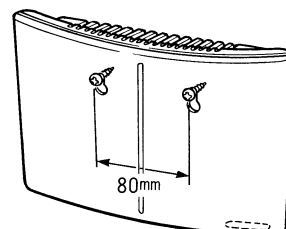
※スピーカーコードを足や手に引っかけてスピーカーを落下させることのないように、コードは壁に固定してください。

※ネジ穴の間隔は、それぞれ図中の寸法に合わせてください。

縦掛け

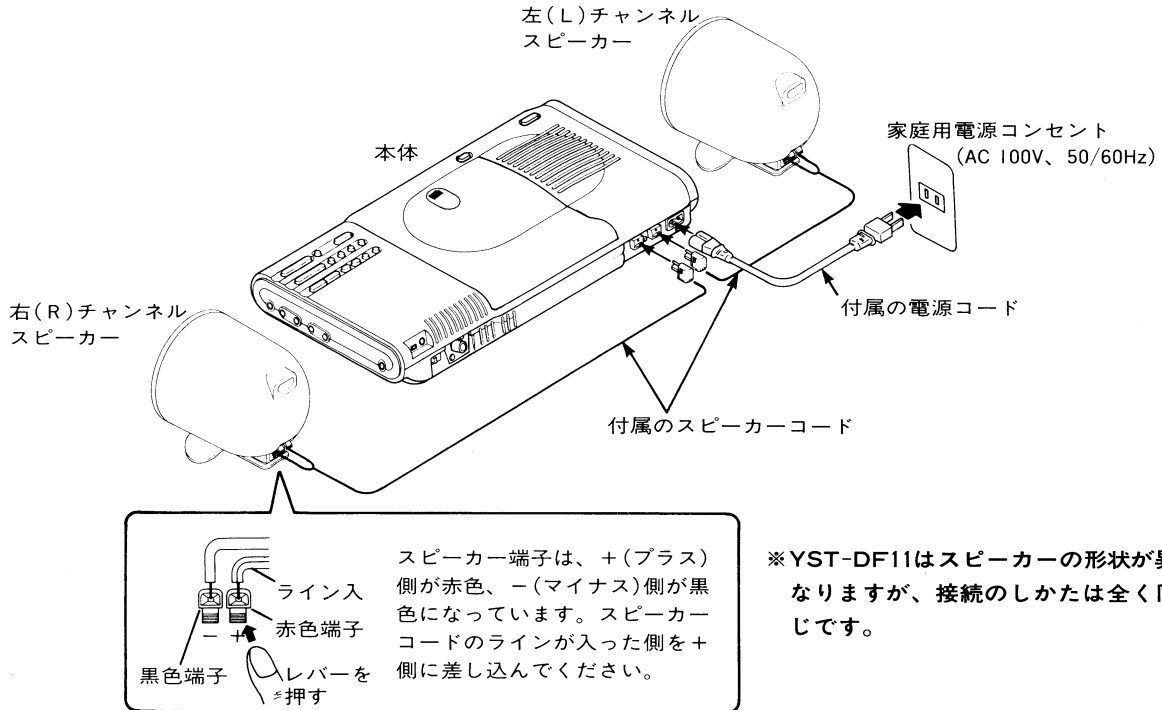


横掛け



接続のしかた

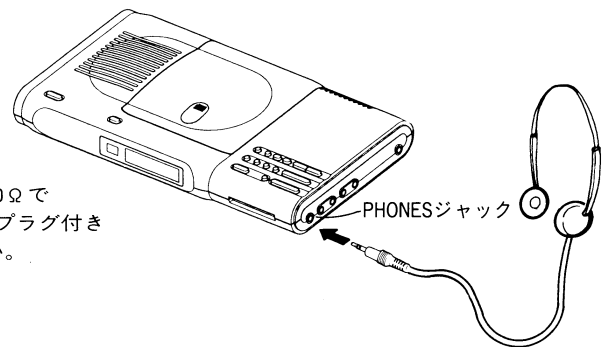
- 電源コードは他の接続が終わってから最後に接続してください。
- スピーカーコードは右(R)、左(L)、極性(+、-)を確認し、確実に接続してください。
- 本機はASTスピーカーを接続するための専用設計になっています。他のスピーカーは接続しないでください。
- 接続が終わったら、7ページ「操作の前の準備」を参考に現在時刻を合わせてください。



ヘッドホンで聞く

ヘッドホンで聞くことができます。

インピーダンスが16~50Ωで
直径3.5mmステレオミニプラグ付き
のものをご使用ください。



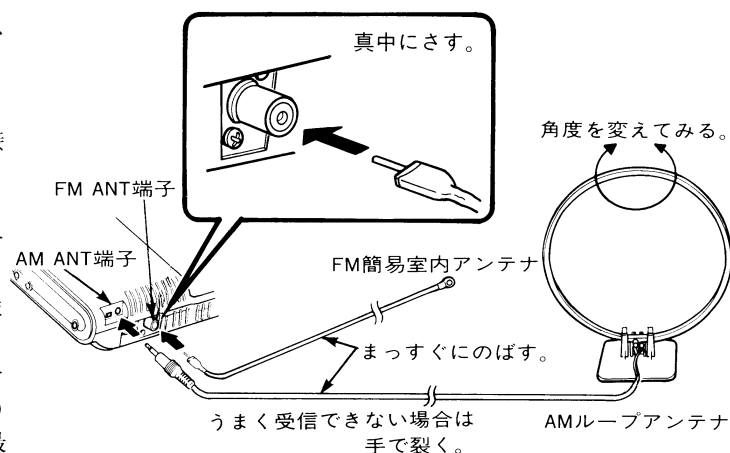
DC INジャックについて

DC INジャックは海外専用の端子です。国内では使用できません。

付属アンテナの設置のしかた

付属のアンテナは、AMループアンテナとFM簡易室内アンテナが一体になっています。

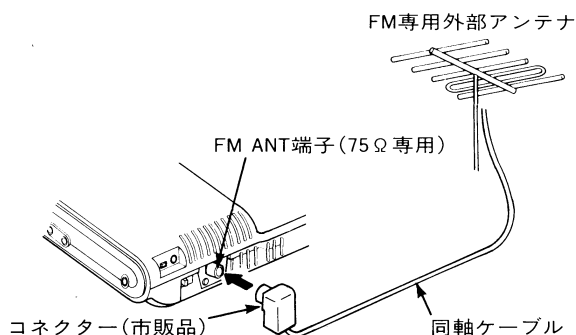
- 1 AM ANT端子にプラグを、FM ANT端子にピンを接続します。
- 2 アンテナ線をそのまま、真っ直ぐにのびします。
- 3 AM放送が最もよく聞こえるように、ループアンテナの角度を調節します。
- 4 FM放送に切り替えて、うまく受信できるか確認します。
- 5 FM放送をうまく受信できないときは、3本のアンテナ線のうち、FMアンテナ線(FM簡易室内アンテナ)だけを切り裂いて、FMアンテナ線だけを動かして最も良く聞こえるようにアンテナの方向を調節します。



※アンテナ線を切り裂いても、FM放送をうまく受信できないときは、FM専用外部アンテナを接続してください。

FM専用外部アンテナの接続のしかた

FM放送の受信状態が悪い場合は、FM簡易室内アンテナのかわりに市販のFM専用外部アンテナを設置されることをおすすめします。(本機のFM ANT端子は75Ω)
外部アンテナを接続する場合は、アンテナ線に市販のコネクターを取り付け、FM ANT端子に接続してください。アンテナの設置について詳しくは、販売店にお尋ねください。

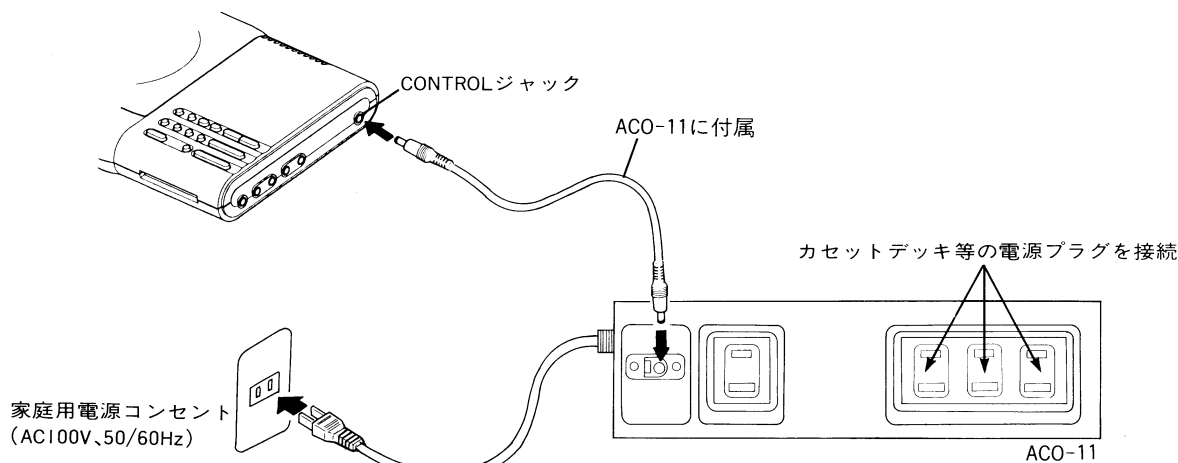


CONTROLジャックの使いかた

本機のCONTROLジャックは、別売のリモートコントロールACアウトレット (ACO-11) を接続するためのジャックです。本機の電源オン/オフに連動させて、カセットデッキなどの電源も自動的にオン/オフさせることができます。(目覚ましタイマーやおやすみタイマーによるオン/オフにも連動します。)

※カセットデッキ等のPOWERスイッチはオンにしておきます。(タイマースタートが可能な機器をご使用ください。)

※ACO-11の説明書もご覧ください。



外部機器との接続

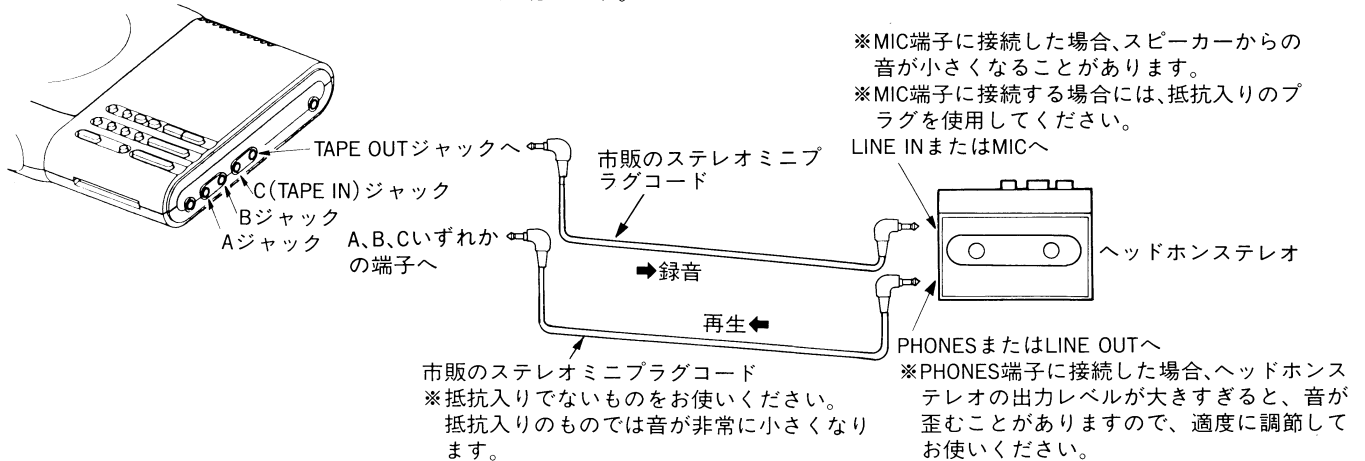
カセットデッキやヘッドホンステレオなどを接続して、それらを再生したり、本機のソースを録音できます。

注意

- ・接続時は電源を切ってください。
- ・レコードプレーヤーは接続できません。
- ・他の機器の取扱説明書もご覧ください。

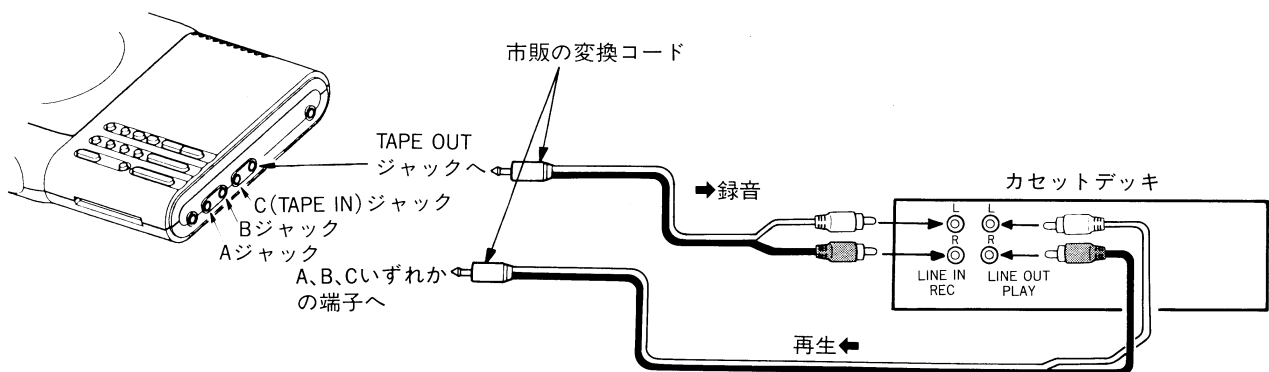
ヘッドホンステレオの接続のしかた

- ・市販のステレオミニプラグコードを使って接続します。



カセットデッキの接続のしかた

- ・市販の変換コード (ピンプラグ ↔ ステレオミニプラグ) を使って接続します。



再生のしかた

- ・22ページの「外部機器を再生するには」を参考にしてください。

録音のしかた

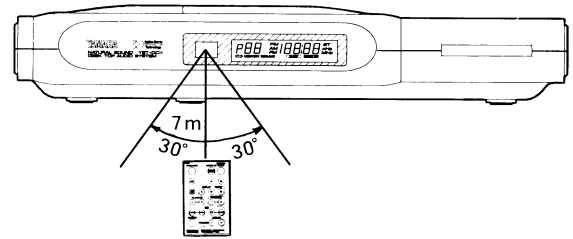
- 1 CDを演奏、または放送を選局します。
- 2 カセットデッキやヘッドホンステレオを操作して録音します。

操作の前の準備

リモコン操作について

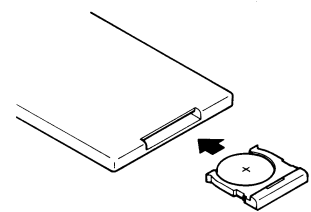
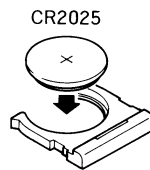
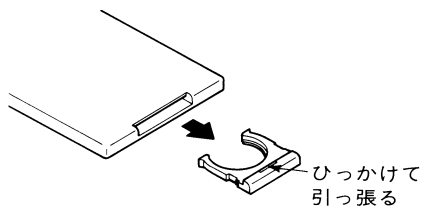
- 本体のリモコン受光窓に向けて操作してください。
- リモコン受光窓に直接日光や強い照明（インバーター蛍光灯、ストロボライトなど）が当たっていると、正常に動作しないことがあります。また、リモコンと受光窓部との間に障害物がある場合も動作しません。このようなときは本体の設置場所を変えるか、障害物を取り除いてください。
- リモコンの操作ボタンは柔らかい材質で作られています。鉛筆など先のとがった物で操作しないでください。

リモコンの使用可能範囲



電池の入れかた(交換のしかた)

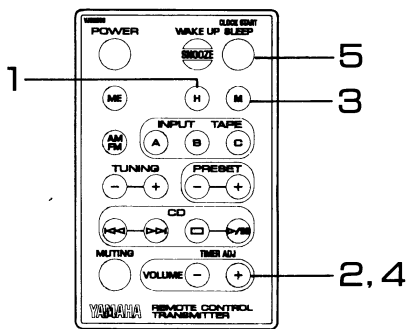
- ①リモコンを裏返し、電池ホルダーを抜きます。
- ②付属の電池を電池ホルダーにのせます。電池の+の表示を上にしてのせます。
- ③電池ホルダーをリモコンに挿入します。



電池のご注意

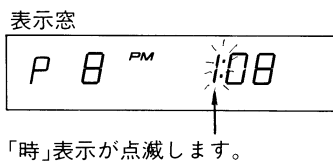
- 電池を交換するときは、同じタイプのものをご使用ください。本機に使われている電池はCR2025です。
- 長時間使用しないときは電池を取り外しておいてください。
- 電池の寿命は約1年です。リモコンの使用状況によって異なりますので、受光範囲が狭くなったり、受光距離が短くなったら交換するようにしてください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてたりしないでください。破裂したり激しく燃えることがあり危険です。
- 電池の⊕、⊖端子をショートさせないでください。電池は発熱し、まれに破裂して発火することがあり危険です。
- 電池の⊕、⊖は正しく入れてください。逆挿入すると、器具によっては電池がショートされ、発熱、破裂、発火することがあります。
- 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲み込まれる恐れがあります。

現在時刻の合わせかた



- ・現在時刻は、電源が切れているときでも合わせることができます。
- ・現在時刻はリモコンで合わせます。リモコンをご用意ください。

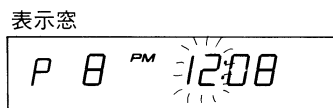
1 Hボタンを押します。



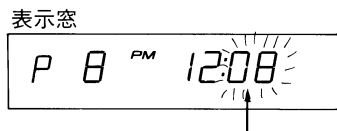
2 VOLUME/TIMER ADJボタンで「時」を合わせます。



+で進みます。
-で戻ります。



3 Mボタンを押します。

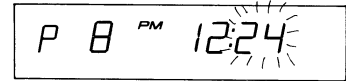


「時」表示が点灯に変わり、「分」表示が点滅します。

4 VOLUME/TIMER ADJボタンで「分」を合わせます。



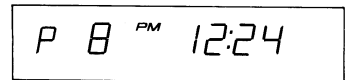
表示窓



5 SLEEP(CLOCK START)ボタンを押します。ボタンを押したときから「分」表示が点灯に変わり、時計がスタートします。



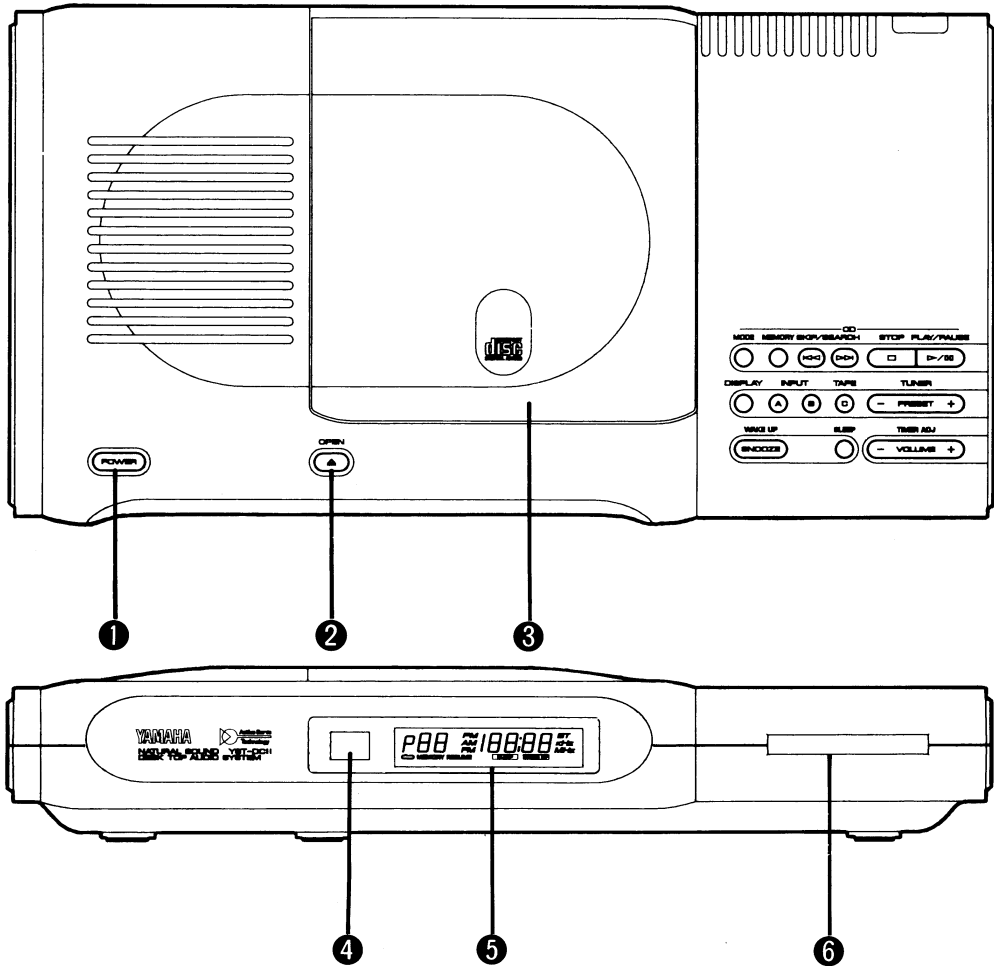
表示窓



※電源コードを抜いたり停電の後、時刻表示が点滅しているときには、バックアップされていません。(通常は約1日バックアップされます。)再度時刻合わせを行ってください。

各部の名称とはたらき

本体



- ① **POWER**ボタン
電源をオン、オフするボタンです。
- ② **OPEN**ボタン
③ **リッド(ふた)**
リッド(ふた)を開けるボタンです。
※CD演奏中は押さないでください。
- ③ **リッド(ふた)**
開けるときは②OPENボタンを押します。閉めるときは左隅を軽く手で上から押さえます。
- ④ **リモコン受光窓**
付属のリモコンからの信号を受光するところです。リモコンはこの窓に向けて操作してください。
- ⑤ **表示窓**
現在時刻、タイマーのセット時刻、CD演奏の曲番や時間、受信周波数、プリセットチャンネルなどを表示します。電源オフで緑色、オンでオレンジ色に点灯します。各操作後、数秒で現在時刻の表示に切り替わります。

表示窓の表示について
プリセットナンバー/曲番/入力ジャック名表示

時刻/演奏時間/周波数/音量表示
(音量は-80~0の範囲で調節できます。-表示が大きいほど小音量になります。)

MEMORY表示
リピート表示

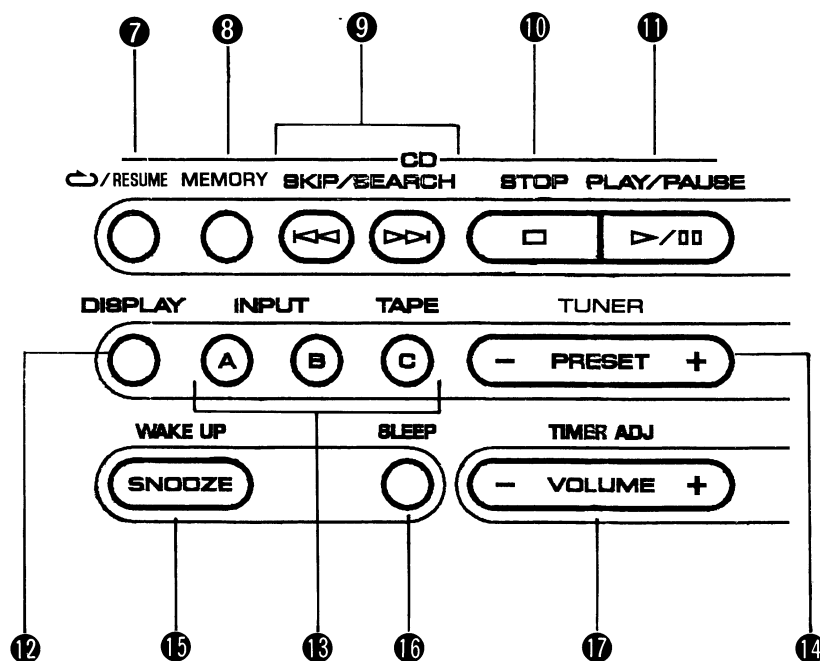
RESUME表示

SLEEP表示

WAKE UP表示

※電源オフで緑色、オンでオレンジ色に点灯します。

- ⑥ **リモコン収納部**
付属のリモコンを収納するところです。



リピート・リジューム

⑦ **↶/RESUME**ボタン

CDを繰り返し演奏(リピート演奏)させるとき、止めた曲から続けて演奏(リジューム演奏)させるとき、もとの状態に戻すときに使います。

メモリー

⑧ **MEMORY**ボタン

CDを予約演奏(メモリー演奏)させるとき、曲番を予約するのに使います。

スキップ/サーチ

⑨ **SKIP/SEARCH**ボタン

CDをとび越し演奏(スキップ演奏)、早戻し、早送りさせるボタンです。

ストップ

⑩ **STOP**ボタン

CDの演奏をストップさせるボタンです。

プレイ・ポーズ

⑪ **PLAY/PAUSE**ボタン

CDの演奏をスタート、またはポーズ(一時停止)させるボタンです。

ディスプレイ

⑫ **DISPLAY**ボタン

⑤表示窓の表示内容を5秒間切り替えるボタンです。

インプット

⑬ **INPUT**ボタン

INPUT A: INPUT A ジャックに接続した機器の音を聞くときに押します。

INPUT B: INPUT B ジャックに接続した機器の音を聞くときに押します。

INPUT C(TAPE):

INPUT C(TAPE IN)ジャックに接続した機器の音を聞くときに押します。

チューナー・プリセット

⑭ **TUNER/PRESET**ボタン

AM/FM放送のプリセットメモリーを呼び出すときに使います。

ウェイクアップ・スヌーズ

⑮ **WAKE UP(SNOOZE)**ボタン

目覚しタイマーをセットおよび解除するときに使います。

スリープ

⑯ **SLEEP**ボタン

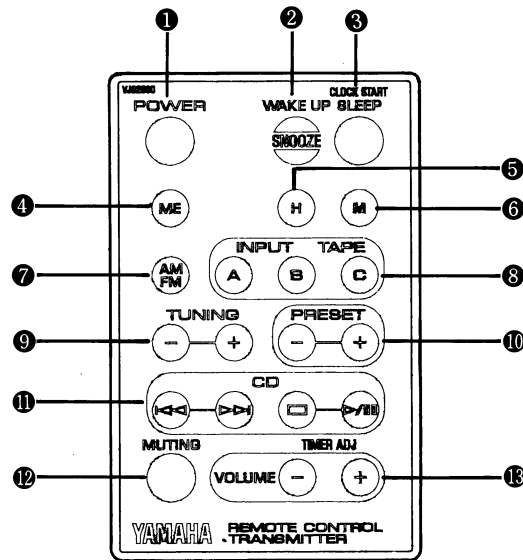
おやすみタイマーをセットおよび解除するときに使います。

ボリューム・タイマーアジャスト

⑰ **VOLUME/TIMER ADJ**ボタン

音量を調節するボタンです。+を押すと音量が大きくなり、-を押すと小さくなります。時刻をセットするときは+で時刻が進み、-で戻ります。押し続けると連続して変化します。

リモコン



① POWERボタン

電源をオン、オフするボタンです。

② WAKE UP (SNOOZE)ボタン

目覚しタイマーをセットおよび解除するときに使います。

③ SLEEP (CLOCK START)ボタン

おやすみタイマーをセットおよび解除するときに使います。また、現在時刻のセット完了時にも使います。

④ MEボタン

予約演奏(メモリー演奏)をさせる場合に曲番を予約するのに使います。また、放送局をプリセットメモリーするときにも使います。

⑤ Hボタン

現在時刻やタイマーの時刻で「時」をセットするときに使います。

⑥ Mボタン

現在時刻やタイマーの時刻で「分」をセットするときに使います。

⑦ AM/FMボタン

受信するバンド(AMかFMか)を選択するボタンです。

⑧ INPUTボタン

本体の⑬INPUTボタンと同じはたらきをします。

⑨ TUNINGボタン

放送局を選局するときに使います。

⑩ PRESETボタン

本体の⑭TUNER PRESETボタンと同じはたらきをします。

⑪ CDボタン

本体の⑨～⑪ボタンと同じはたらきをします。

⑫ MUTINGボタン

ボタンを押すと音が小さくなります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

ミュート中は元の音量表示が点滅します。

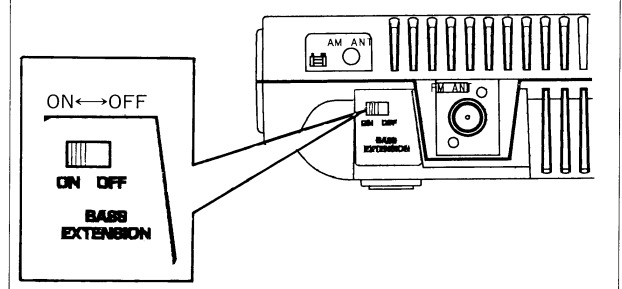
※ミュート中は、MUTINGボタンおよびPOWERボタン以外は動作しません。他の動作をさせたい場合は、MUTINGボタンを押してミュートを解除してください。

⑬ VOLUME/TIMER ADJボタン

本体の⑰VOLUME/TIMER ADJ ボタンと同じはたらきをします。

BASS EXTENSIONスイッチについて

後面パネルのBASS EXTENSIONスイッチをONすることにより、重低音をさらに増強することができます。



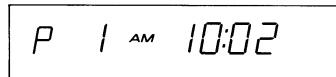
CDの基本的な演奏

1 電源を入れます。

POWERボタンを押します。



表示窓



表示の色が緑色からオレンジ色に変わります。

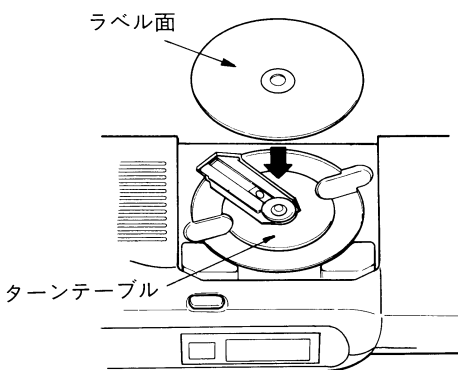
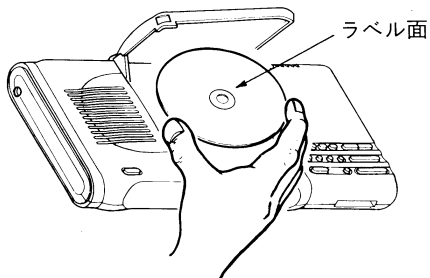
2 リッドを開けます。

OPENボタンを押します。



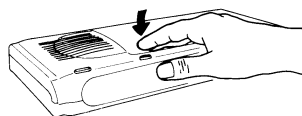
3 ディスクをのせます。

ラベル面を上にしてターンテーブルの中央にのせます。
(シングルCDも使えます。)



ターンテーブルのセンターとディスクのセンターを合わせます。

4 リッドを閉めます。



左隅を押してください。

5 演奏のメニューを選びます。

- ・ 1曲目から聞きたいときは → ノーマル演奏
- ・ 好きな曲から聞きたいときは → スキップ演奏

ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ず文字の書かれているレーベル面を上にして、ターンテーブルの中央に正しくセットしてください。

※コンパクトディスクの演奏は片面のみです。

※一度にセットできるディスクは1枚だけです。

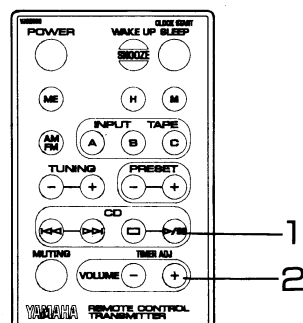
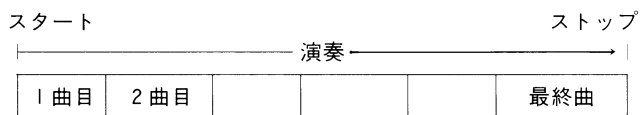
※市販のディスク スタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく、故障の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

※ディスクシートなどを使用したディスクの場合は、正常に演奏できないことがあります。

1曲目から聞きたいときは(ノーマル演奏)

一曲目から全曲再生させる基本的な演奏です。

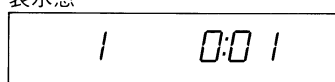
本体で操作できることもありますが、本章では基本的にリモコンで説明しています。



1 PLAY/PAUSEボタンを押します。



表示窓



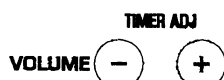
1曲目が始まると、1曲目の経過時間が数秒間表示され、自動的に時刻表示に変わります。

2 VOLUME/TIMER ADJボタンで音量を調節します。

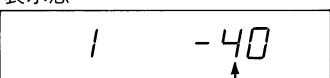
※最後まで演奏されると、自動的にストップになります。

※演奏中にOPENボタンを押さないでください。

音量を調節するには
VOLUME/TIMER ADJボタンで調節します。



表示窓



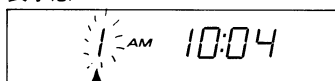
音量(音量は-表示が大きいほど小音量)

※約5秒で、時刻表示に戻ります。

演奏を一時的に止めるには
PLAY/PAUSEボタンを押します。



表示窓



演奏していたトラックのNoが点滅します。

※再び演奏を始めるには、もう一度PLAY/PAUSEボタンを押します。

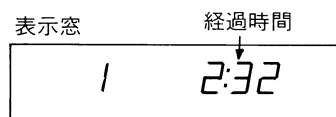
演奏を止めるには
STOPボタンを押します。



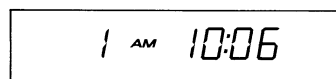
経過時間表示の切り替え

DISPLAYボタンを押します。演奏中の曲の経過時間が約5秒間表示され、自動的に時刻表示に変わります。

本体
DISPLAY



時刻表示

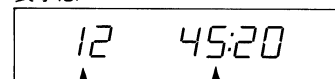


ディスク内の曲数と総演奏時間を確認するには
1 PLAY/PAUSEボタンを押して一度演奏状態にします。

2 STOPボタンを押して停止させます。

※この操作をすると、ディスクに収められている曲数と総演奏時間が約5秒間表示されます。表示が切り替わってしまっても、DISPLAYボタンを押せば再度約5秒間表示させることができます。

表示窓



曲数

総演奏時間

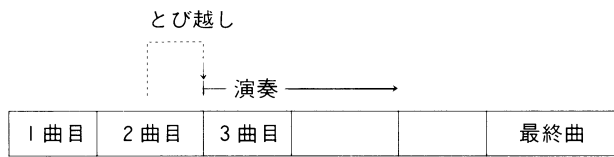
ご注意

- ※CDの操作をすると、近くのチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じることがあります。特に室内アンテナで使用しているチューナーやテレビに起こりやすいため、屋外アンテナの使用をお勧めします。
- ※本機に衝撃を与えたり、振動しやすい場所でお使いになると、ディスク演奏時に音とびを起すことがあります。

※ディスクを取り出すときは、まずSTOPボタンを押し、ディスクの回転が止まったことを確かめたうえで、OPENボタンを押してください。(ディスクが回転しているときにOPENボタンを押すと、ディスクを傷つけることになります。)

好きな曲から聞きたいときは(スキップ演奏)

聞き始める曲を選んで、演奏させることができます。



次の曲に進めるには

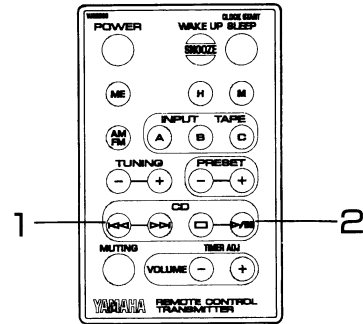
- 1 SKIP/SEARCH ボタンの **▶▶** を必要な回数だけ押します。
押すごとに次の曲の頭に移ります。



- 2 PLAY/PAUSE ボタンを押して演奏をスタートさせます。



※演奏中に **▶▶** を押したときには、選んだ曲の最初から自動的に演奏がスタートします。ストップまたは一時停止状態で **▶▶** を押したときには、PLAY/PAUSE ボタンを押して演奏をスタートさせます。



演奏中の曲または前の曲に戻すには

- 1 SKIP/SEARCH ボタンの **◀◀** を必要な回数だけ押します。
1回押すとその曲の最初に戻ります。くり返し押すと、押すごとに前の曲の最初に移ります。



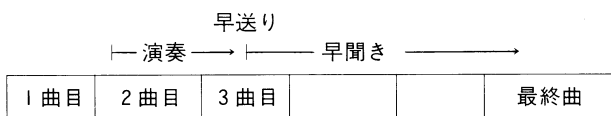
- 2 PLAY/PAUSE ボタンを押して演奏をスタートさせます。



※演奏中に **◀◀** を押したときには、選んだ曲の最初から自動的に演奏がスタートします。ストップまたは一時停止状態で **◀◀** を押したときには、PLAY/PAUSE ボタンを押して演奏をスタートさせます。

早送り・早戻しするときは(サーチ演奏)

演奏中に早送り、早戻ししながら聞きたいところを探せます。



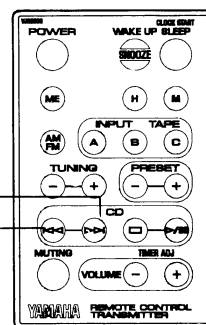
早送りするには

演奏中にSKIP/SEARCHボタンの **▶▶** を押し続けます。



早送り音で小さな音で聞こえますので、お好みのところで指を離してください。

早送り
早戻し



早戻しするには

演奏中にSKIP/SEARCHボタンの **◀◀** を押し続けます。



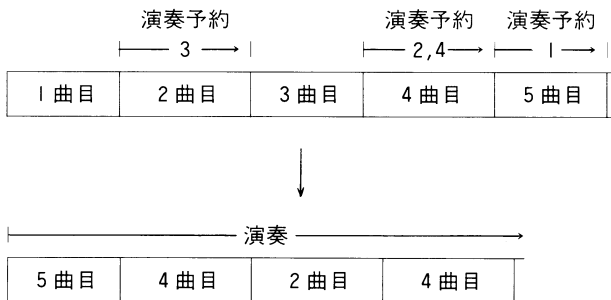
早戻し音が小さな音で聞こえますので、お好みのところで指を離してください。

※早送りの場合も、早戻しの場合もボタンの押し初めはゆっくり、数秒後から速くサーチします。

いろいろなCD演奏

好きな曲を好きな順に聞きたいときは(メモリー演奏)

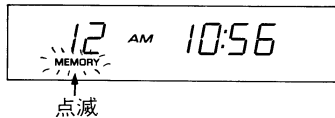
お好みの曲をお好みの順序で、最大24曲または総演奏時間120分まで演奏させることができます。



- 1 ストップボタンを押します。演奏が停止します。
- 2 MEMORYボタンを押します。
MEMORYの文字が点滅表示します。

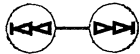


表示窓

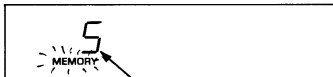


点滅

- 3 SKIP/SEARCHボタンを押して、希望の曲を表示させます。



表示窓



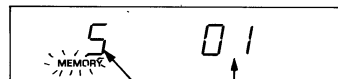
ディスクの曲番

- 4 MEMORYボタンを押します。希望の曲が予約されます。

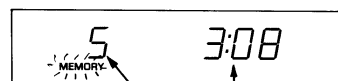
約2秒で、予約番号の表示が予約した曲の総演奏時間に変わります。



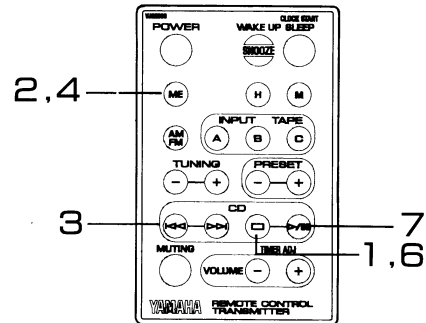
表示窓



ディスクの曲番 予約番号

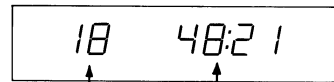


ディスクの曲番 総演奏時間



- 5 以降の曲を次々に予約します。3と4の操作をくり返します。
- 6 最後の曲を予約したらSTOPボタンを押します。
予約した曲数と総演奏時間が表示されます。

表示



総曲数

総演奏時間

- 7 PLAY/PAUSEボタンを押します。予約演奏がスタートします。

- ※予約曲が全て演奏されると、自動的にストップします。
- ※同じ曲を2回以上予約することもできます。
- ※24曲以上入っているディスクの場合は、総演奏時間は表示されません。
- ※停電したり電源コードを抜くと、予約演奏のメモリーは消えてしまいます。再度予約してください。
- ※リピート演奏やリジューム演奏の機能を組み合わせて使用することもできます。

予約曲の確認

- 1 予約終了後にSTOPボタンを押します。ストップ状態になります。
- 2 SKIP/SEARCHボタンを押して予約曲を確認します。SKIP/SEARCHボタンを押すたびに、予約曲の番号が点滅します。
- 3 確認が終わったら、STOPボタンを押します。

予約の1曲取り消し

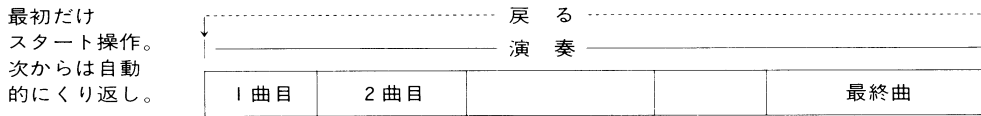
- 1 予約終了後にSTOPボタンを押します。ストップ状態になります。
- 2 SKIP/SEARCHボタンを押して予約を取り消す曲を選びます。選んだ曲の曲番が点滅します。
- 3 MEMORYボタンを押します。選んだ曲が取り消されます。
- 4 2と3をくり返して1曲ずつ取り消します。
- 5 取り消しを中止するときは、STOPボタンを押します。

予約の全曲取り消し

- 1 予約終了後にSTOPボタンを押します。ストップ状態になります。
- 2 OPENボタンを押してリッドを開けます。全曲取り消されます。

くり返して聞きたいときは(リピート演奏)

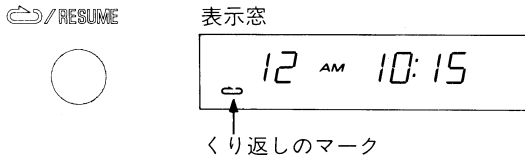
予約演奏(メモリー演奏)で予約した曲、または全曲をくり返し演奏できます。



全曲をくり返すには

- 1 本体の /RESUME ボタンを押します。くり返しのマーク()が表示されます。

本体

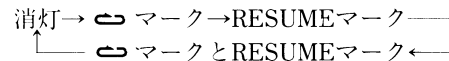


- 2 PLAY/PAUSE ボタンを押します。演奏がスタートします。

予約演奏した曲をくり返すには

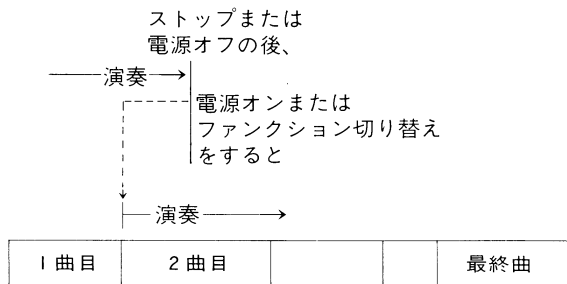
- 1 予約演奏(メモリー演奏)の予約をします。
- 2 /RESUME ボタンを押します。くり返しマーク()が表示されます。
- 3 PLAY/PAUSE ボタンを押します。演奏がスタートします。

※くり返し演奏を取り消す場合は、 /RESUME ボタンを押して、くり返しのマーク()を消灯させます。
 ※ /RESUME ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。



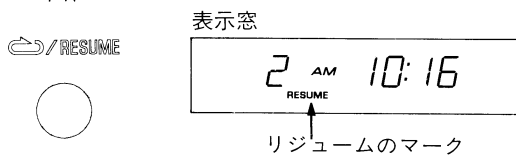
止めた曲から続けて演奏させるときは(リジューム演奏)

電源を再びオンした時やファンクションをCDに戻したときに、最後に聞いていた曲から自動的に演奏を始めることができます。



- 1 本体の /RESUME ボタンを押します。リジュームのマーク (RESUME) が表示されます。

本体



演奏中に電源をオフしたり、他のファンクションに切り替えた時に、演奏がストップします。

- 2 電源をオンしたりファンクションをCDに戻すと (PLAY/PAUSE ボタンを押すと)、最後に聞いていた曲から自動的にスタートします。そして最終曲まで演奏されると、ストップします。

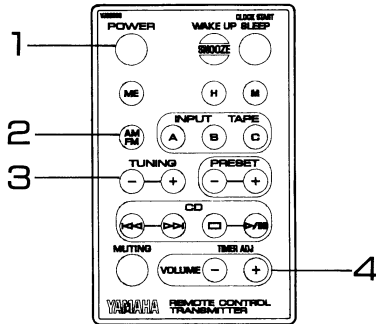
※OPEN ボタンを押してリッドを開けると、1曲目からスタートします。
 ※最終曲まで演奏されると、自動的にストップします。
 ※リジューム演奏を取り消す場合は、 /RESUME ボタンを押して、リジュームのマーク (RESUME) を消灯させます。
 ※停電したり電源コードを抜くと、リジューム演奏は解除されます。再度セットしてください。

止めた曲から続けてくり返し演奏 (リジューム+リピート演奏)

- 1 /RESUME ボタンを押します。リジュームのマーク (RESUME) とくり返しのマーク()を表示させます。
- 2 電源をオンしたりファンクションをCDに戻すと (PLAY/PAUSE ボタンを押すと)、最後に聞いていた曲から自動的にスタートします。そして最終曲まで演奏されるとくり返し演奏になります。

放送を聞くには

本体で操作できることもありますが、本章では基本的にリモコンで説明しています。



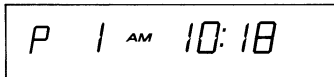
1 電源を入れます。

POWERボタンを押します。

POWER



表示窓

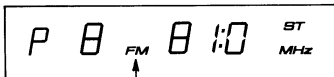


表示の色が緑色からオレンジ色に変わります。

2 受信するバンドを選びます。



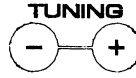
表示窓



AMまたはFMの表示

3 選局します。

ボタンは軽く1回押すと、周波数が1ステップずつ変わります。お好みの放送局を選んでください。また約0.5秒以上押し続けると、周波数が連続して変わり、放送を受信したところで自動的に止まります。



FMステレオ放送受信時に点灯表示窓

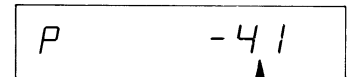


4 音量を調節します。

TIMER ADJ



表示窓



音量の表示(約5秒後には時刻表示に戻ります。)

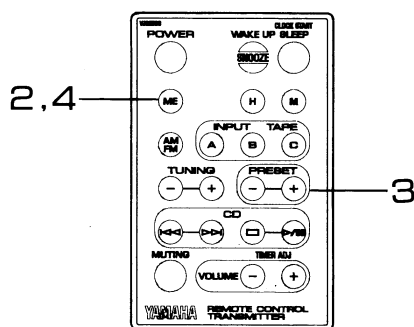
プリセットメモリー

ふだん良く聞く局をメモリー（記憶）しておき、簡単な操作で選局できるようにする機能です。

プリセットメモリーできる放送局の数は、AM、FM合わせて19局です。

プリセットメモリーは、停電および電源コードを抜いた状態でも約1日はメモリーされています。それ以上通電させない場合は、メモリーが消えてしまいますので再度メモリーしなおしてください。

プリセットメモリーのしかた



- 1 放送局を選局します。
メモリーしたい放送局を選局します。
- 2 リモコンのMEボタンを押します。



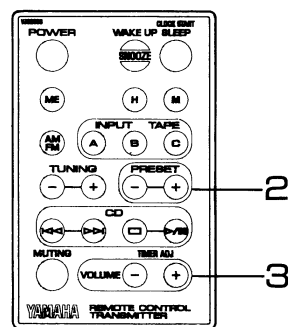
- 3 メモリーするチャンネルを選びます。
P.1～P.19の中から、リモコンのPRESETボタンで選びます。



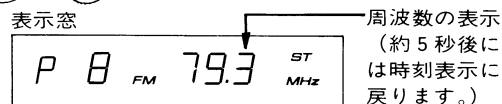
- 4 もう一度リモコンのMEボタンを押す。
メモリーされます。

- ※③と④の操作は、表示窓のMEMORYの文字が点滅している間(約5秒)に行わないと、無効になります。
- ※すでにメモリーされているチャンネルに新しくメモリーすると、前の内容は取り消されます。
- ※1～4をくり返し操作し、AM、FM合わせて19局メモリーすることができます。

プリセット選局のしかた



- 1 プリセットメモリーします。
- 2 聞きたい放送局のチャンネルを選びます。
P.1～P.19の中からPRESETボタンで選びます。



- 3 音量を調節します。

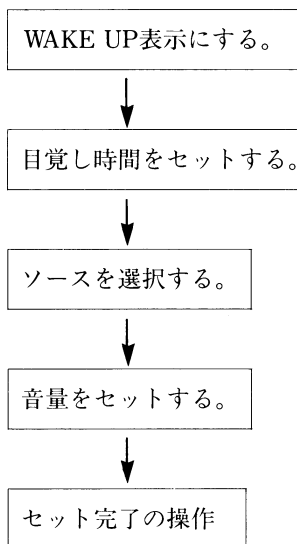
タイマーを使うには

目覚しタイマー(WAKE UP)

本体で操作できることもありますが、本章では基本的にリモコンで説明しています。

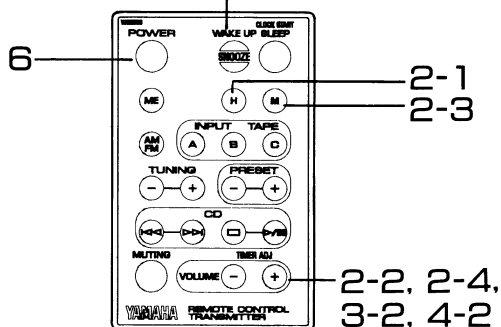
セットした時刻になると自動的に電源が入ります。

- ・ 8 ページの「現在時刻の合わせかた」を参照し、時刻合わせをしてください。
- ・ 目覚しタイマーのセットは、電源が切れている状態でもできます。
- ・ A,B,Cジャックに接続した機器(ヘッドホンステレオ等)を目覚しのソースに選ぶ場合は、タイマースタートが可能な機器をご使用ください。
- ・ 目覚しタイマーのセットは、以下の手順で行います。



※目覚しタイマーのセット中に、約8秒以内に何もボタンを押さないと、表示が自動的に切り替わります。セットしようとしていた表示に戻すときは、WAKE UP (SNOOZE) ボタンを目的の表示になるまで押してください。

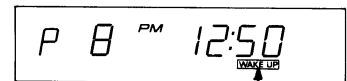
1, 3-1, 4-1, 5



- 1 WAKE UP(SNOOZE)ボタンを押します。WAKE UPの文字が表示されます。



表示窓 (FMまたはAMを聞いている場合)



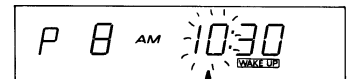
↑
WAKE UPのマーク

2 目覚し時間のセット

- 2-1 リモコンのHボタンを押します。



表示窓

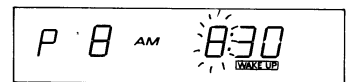


↑
「時」表示が点滅します。

- 2-2 VOLUME/TIMER ADJ ボタンで開始時刻の「時」を合わせます。



表示窓

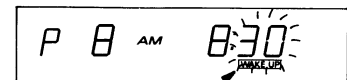


- ※次にMボタンまたはWAKE UPボタンを押すまで、「時」表示が点滅します。

- 2-3 リモコンのMボタンを押します。



表示窓

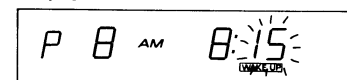


↑
「時」表示が点灯に変わり、「分」表示が点滅します。

- 2-4 VOLUME/TIMER ADJ ボタンで開始時刻の「分」を合わせます。



表示窓



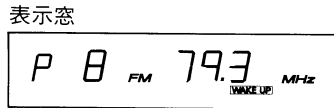
- ※次にWAKE UPボタンを押すまで、「分」表示が点滅します。

3 ソースの選択

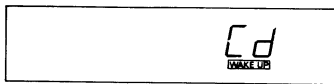
3-1 WAKE UP(SNOOZE)ボタンを押します。



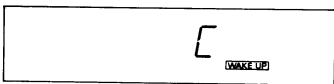
3-2 VOLUME/TIMER ADJボタンで、チューナー、CD、インプットA、B、C(TAPE)、アラームのいずれかを選びます。



AMまたはFM放送にしたとき



CD演奏にしたとき



INPUT Cを選択したとき

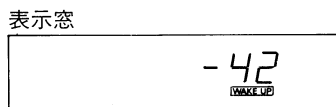


アラームにしたとき

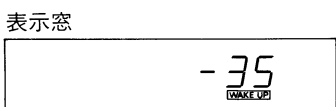
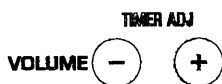
3-3 3-2でAMまたはFM放送を選んだときは、PRESETボタンを押して選局します。

4 音量のセット

4-1 WAKE UP(SNOOZE)ボタンを押して音量の表示にします。



4-2 VOLUME/TIMER ADJボタンで音量をセットします。

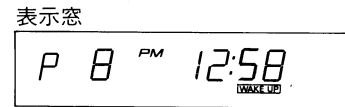


5 WAKE UP(SNOOZE)ボタンを押します。

目覚しタイマーがセットされます。

6 POWERボタンを押して電源を切ります。

電源が切れている状態で目覚しタイマーをセットした場合は、この操作は必要ありません。



7 確認

表示窓にWAKE UPの文字が表示されていることを確認します。

※目覚しタイマーによりオンになると、ソースがCD、FM、AM、INPUT A、B、Cの場合には約130分で電源オフします。(タイマーでオンした後、他のソースに切り替えた場合は自動的にオフされません。)

※目覚しタイマーによりオンになった後に止めるには、POWERスイッチを押します。

※タイマーのセット内容は、停電および電源コードを抜いた状態でも約1日はメモリーされています。それ以上通電させない場合は、タイマーのセット内容が消えてしまいますので再度メモリーしなおしてください。

アラームの場合

※アラーム動作中にWAKE UP(SNOOZE)ボタンを押すとアラームが止まり、スヌーズ動作(約5分後に再びアラームが鳴る)します。WAKE UP(SNOOZE)ボタンでアラームを止め続けると、約60分間スヌーズ動作します。

※スヌーズ動作中は、時刻表示が点滅します。

※アラームの場合には約60分で電源オフします。

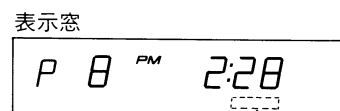
※アラームを完全に止める(スヌーズ動作もさせない)場合には、POWERスイッチを押します。

(他のキーを押すことでもアラームを止めることができますが、その場合は最後に聞いていたソースの再生に切り替わります。)

目覚しタイマーを解除するには

WAKE UP(SNOOZE)ボタンを押します。

WAKE UPの文字が消灯します。

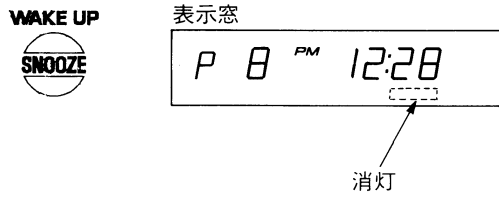


消灯

※この操作を行わないと、翌日も目覚しタイマーが動作します。

目覚しタイマーの内容を確認するには

- 1 WAKE UP(SNOOZE)ボタンを押します。WAKE UPの文字が消えます。



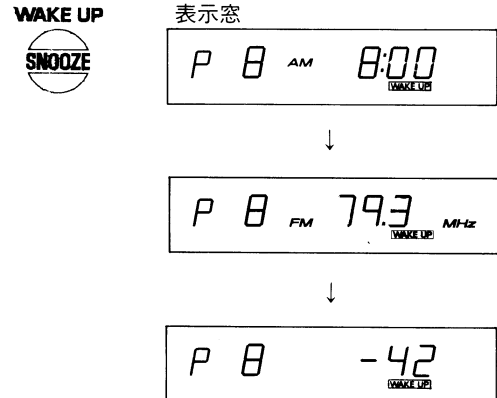
アラームの音量を確認する場合は

確認は電源オフの状態で行います。

確認時に音量の表示にしたときのみ、アラームが鳴ります。またこの状態のとき、20ページ4-2の操作で音量を変更できます。

- 2 もう一度WAKE UP(SNOOZE)ボタンを押します。

WAKE UPの文字が表示されるとともに、設定時刻、ソース、音量が約8秒ずつ表示されます。

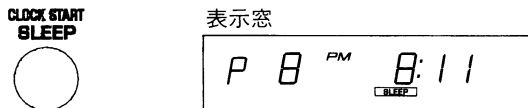


おやすみタイマー(SLEEP)

セットしてから約60分たつと自動的に電源が切れます。AMまたはFM放送、CD演奏、A、B、Cジャックに接続したヘッドホンステレオなどを聞きながらおやすみになるときに便利です。

おやすみタイマーのセット

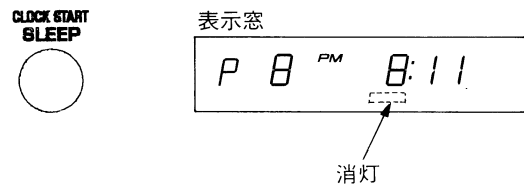
SLEEPボタンを押します。SLEEPの文字が表示されます。



※約60分たつと自動的に電源が切れます。

おやすみタイマーを解除するには

SLEEPボタンをもう一度押します。SLEEPの文字が消灯します。または電源を切ります。

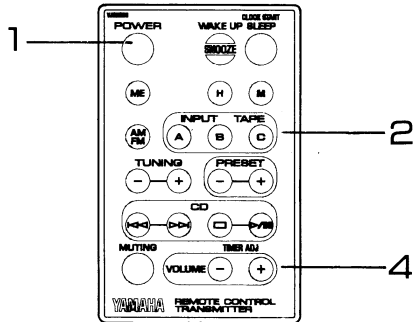


メモ： おやすみタイマーと目覚しタイマーは両方ともセットすることができます。夜はおやすみタイマーを使い、翌朝目覚しタイマーでお目覚めになれます。

外部機器を再生するには

本体で操作できることもあります。本章では基本的にリモコンで説明しています。

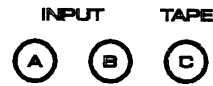
INPUT A～INPUT C (TAPE IN) に接続した機器を再生できます。



1 電源を入れます。

本機および接続した機器の両方の電源を入れます。(CONTROLジャックを使って、外部機器の電源を本機と連動させることができます。)

2 接続した機器をINPUTボタンで選びます。選んだジャックが表示されます。



表示窓

A

Aジャックのとき

B

Bジャックのとき

C

Cジャック (TAPE) のとき

3 接続した機器を再生状態にします。

詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。


4 音量を調節します。



※接続した機器で音量調節ができる場合には、再生音が本機の放送を聞くときと同じ音量になるように調節しておき、その後の音量調節は本機のVOLUMEボタンで行います。

※本機のCDを再生中、近くのチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じることがあります。特に室内アンテナを使用しているチューナーやテレビに起こることがありますので、屋外アンテナの使用をお勧めします。

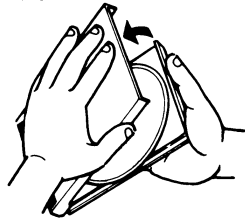
CD(コンパクトディスク)の取り扱いがた

・本機には、マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

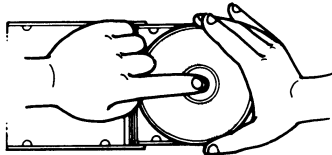
・規格外のディスクはご使用にならないでください。規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、リッドが開いたり、異音の発生や故障の原因となることがあります。

ケースからの取り出しがた

①右手でケースの両側側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



②右手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。



③できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



取り扱いの注意

●信号記録面に指紋やほこりが付きましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは、柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音にはまったく影響ありません。



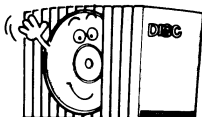
●レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



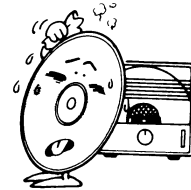
●曲げたりしないでください。



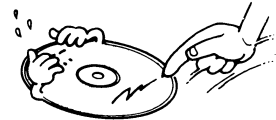
●演奏が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。



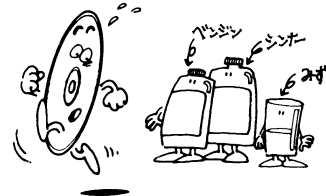
●直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置かないでください。コンパクトディスクを温度の高い場所に長時間放置すると、変形などの原因になります。



●表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



●レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水に濡れた布で拭くことも避けてください。



故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛に、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

- 本機を使用中に強い外来ノイズ（落雷、過大な静電気等）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は一度電源コードを抜き、約30秒後にふたたびつないで操作をやり直してください。

症 状	原 因	処 置
POWER ボタンを押しても、電源が入らない。	ACコードが抜けている。	ACコードをしっかりと差し込む。
音が出ない。または音が小さい。	スピーカーコードの接続が不完全。	スピーカーコードを正しく接続しなおす。
	音量が低すぎる。	VOLUME/TIMER ADJボタンの+を押して、音量を上げる。
	ミュートになっている。	リモコンのMUTINGボタンを押して解除する。
	INPUTボタンの切り替えが間違っている。	正しくセットする。
放送を受信できない。	アンテナの入力電波が弱い。	アンテナをまっすぐに伸ばし、方向を変えてみる。またはFM外部アンテナを接続する。
FM放送に“バリバリ”という音が入る。(電波の弱い地域ほど著しい)	自動車などのイグニッションノイズ。	アンテナをまっすぐに伸ばし、方向を変えてみる。またはFM外部アンテナをできるだけ高く道路から離れた位置に設置し、同軸ケーブルを使用する。
	サーモスタット付きの電気器具による雑音。	
プリセット選局ができない。	プリセット(メモリー)が消えている。	再度プリセットする。
AM放送に“ジー”“ザー”“ガリガリ”などの連続雑音が入る。	雷などの雑音、または蛍光灯、モーター、サーモスタット付きの電気器具による雑音。	アンテナをまっすぐに伸ばし、方向を変えてみる。
	テレビ、マイコン等のそばで使用している。	テレビ、マイコン等から離して使用する。
ディスクを入れても演奏できない。	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットする。
	ディスクがひどく汚れている。	ディスクをクリーニングする。
CDの音が途切れる。(同じ場所で途切れる)	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングする。
	音量が高すぎる。	VOLUME/TIMER ADJボタンの-を押して、音量を下げる。
目覚しタイマーが動作しない。	目覚しタイマーがセットされていない。	WAKE UPボタンを押してWAKE UPインジケータを点灯させる。
	現在時刻が違っている。	現在時刻を正確に合わせる。
リモコンで操作できない。	電池が消耗している。	電池を交換する。
	リモコン操作の距離、角度が適切でない。	7 m以内、30° 以内で操作する。
	本機を設置している場所の照明が明るすぎる。受光窓に強い光が当たっている。	照明を消すか、暗くしてから操作する。

参考仕様

■アンプ部

定格出力(4Ω/EIAJ)	10W + 10W
入力感度(外部機器入力ジャック)	150mV
S/N	97dB

■CDプレーヤー部

周波数特性	20Hz~20kHz
ダイナミックレンジ(EIAJ)	94dB
S/N(EIAJ)	100dB
フィルター	4倍オーバーサンプリング

■チューナー部

受信周波数範囲	
FM	76.0MHz~90.0MHz
AM	522kHz~1629kHz
プリセット(メモリー)	19局

■タイマー部

目覚し(WAKE UP)タイマー	1日1回
おやすみ(SLEEP)タイマー	60分
時間精度	月差約±30秒(25°C)

■スピーカー部

型式	アクティブサーボ プロセッシングスピーカー
スピーカーユニット	フルレンジ10cm (YST-DC11は低磁束漏洩タイプ)
出力音圧レベル	
YST-DC11用	86.5dB/W/m
YST-DF11用	90dB/W/m
再生周波数帯域	
YST-DC11用	45Hz~18kHz
YST-DF11用	45Hz~20kHz

■総合

電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	30W
外形寸法	
本体(W×H×D)	355×62.5×191.5mm
スピーカー(1個分、スタンド含まず)	
YST-DC11用	φ145×175(奥行)mm
YST-DF11用(W×H×D)	200×270×72mm
重量	
本体	2.5kg
スピーカー(1個分、スタンド含まず)	
YST-DC11用	1.3kg
YST-DF11用	1.5kg
付属品	リモコン…………… 1 リモコン用電池…………… 1 電源コード…………… 1 AMループアンテナ/FM簡易室内アンテナ…………… 1 スピーカーコード…………… 2 スピーカースタンド…………… 2 スタンド固定ネジ(YST-DC11のみ)…………… 4

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機底面に表示してあります。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預かり窓口)

北海道 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL(011)513-5036

仙台 〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(022)236-0249

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL(025)243-4321

松本 〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F
TEL(0263)32-5930

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル
TEL(03)3255-2241

首都圏 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100

浜松 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL(053)465-1158

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL(052)652-2230

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL(06)877-5262

神戸 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ(株)神戸店内
TEL(078)321-1195

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内
TEL(0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39
TEL(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

(ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口)

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
東京事業所 TEL(03)3255-5691
TEL(03)3255-6767

名古屋 〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内
名古屋営業所 TEL(052)782-7551

大阪 〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内
大阪事業所 TEL(06)647-6411

本社 〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

お客様ご相談センター TEL(053)460-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部

TEL.(053)460-3451

品質保証室

TEL.(053)460-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA